

学力テストを受けての教育施策は

教育長 「できる・わかる・楽しい授業」を充実させる



録画を配信

全国学力テスト等の結果を受けて問う。

山形県の平均は、小6の国語と算数、中3の国語と数学で全国を下回り、理科は小中ともに上回った。

児童生徒の学力

問 当町の課題は。

教育長 小学理科以外は全国を下回った。求められる資質・能力の向上が喫緊の課題。

教育施策

問 今後、どのような教育施策につなげていくか。

教育長 「読む」「書く」「聞く」活動や読書活動を重視し、読解力の向上に努める。「できる・わかる・楽しい授



たけだ まさひこ
竹田雅彦 議員

業」を充実させ、学力向上を図る。

スマホ・ゲーム使用時間増

問 3年前より勉強時間が減り、スマホやゲーム時間が増えた。対策はどうか。

教育長 生徒会活動のノーマメディアデー、PTAのメディアアカウント、家族ふれあいデーの取り組みを実施している。

生活支援員の維持・増員

問 現在は様々な特性の子があり、担任教諭一人では対応困難ではないか。現在の生活支援員の維持は必須であり、増員の考えは。

教育長 現在11人配置しており、今後も教員との協力体制の下、きめ細やかな指導を継続していきたい。

図書館司書の配置

問 読解力も課題との調査結果も出た。図書館司書を配置し、本に触れる機会の再構築も必要ではないか。

教育長 読解力は非常に重要と捉えている。様々な方法を模索し、今後検討していく。

ICTの活用

問 ICT機器活用に自信のある児童・生徒の正答率が高いデータもある。今後どう活用していくのか。



電子黒板で授業中

教育長 複数での登下校、涼しい服装や帽子の着用、水筒携行、熱中症防止グッズの使用など、発達段階に応じた要請をしている。

対策グッズの配布

問 冷感製品の配布や、学校への冷蔵庫整備はどうか。

教育次長 冷感製品は、これからも家庭の協力を得て発達段階に応じた対応していきたい。冷蔵庫の設置は、予算面や教職員の業務負担にもつながるため、現場の意見を聴き、対策を検討し、協議していきたい。

私もひとこと

少子化ではあるが、生活支援員の存在は大変ありがたい。
(50代男性)